

経営比較分析表（令和4年度決算）

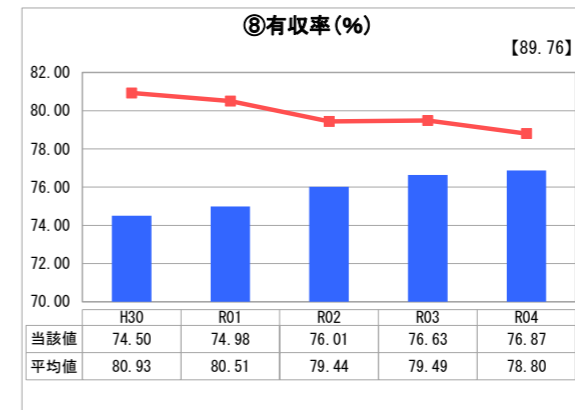
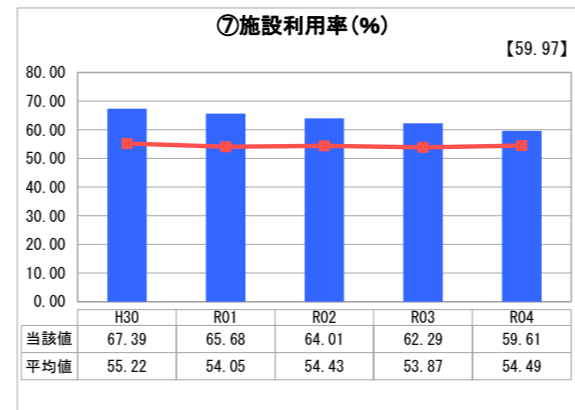
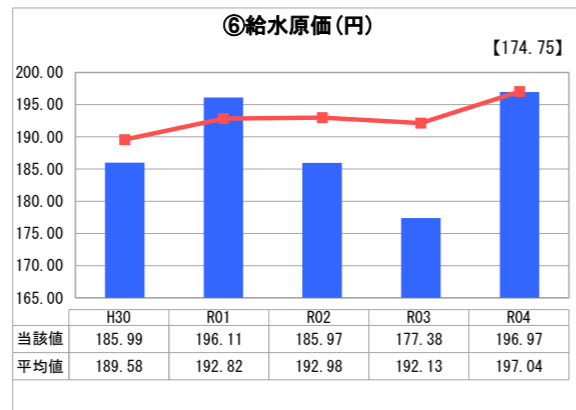
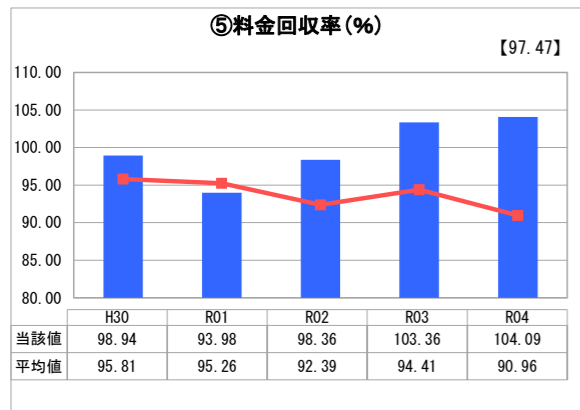
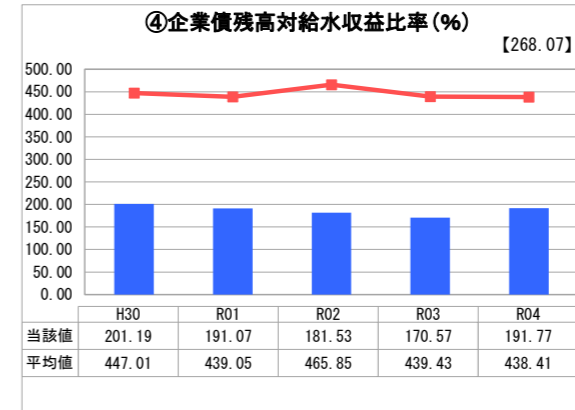
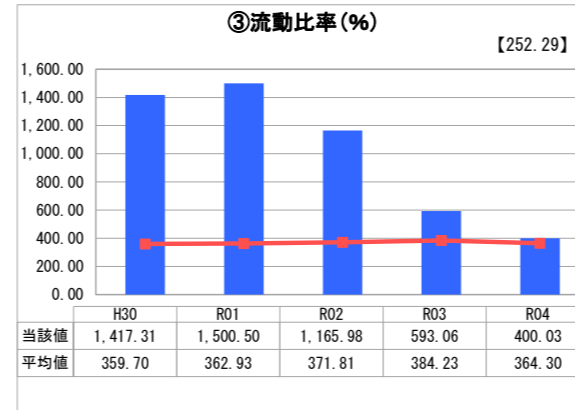
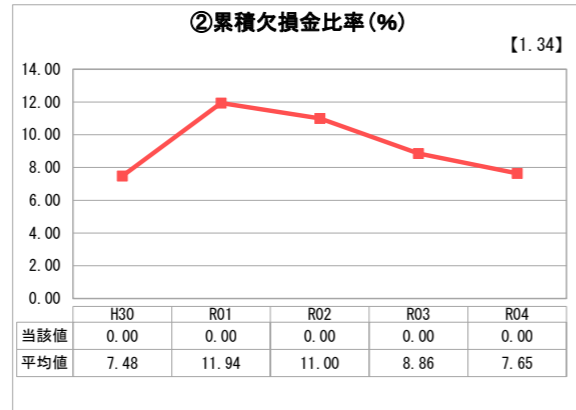
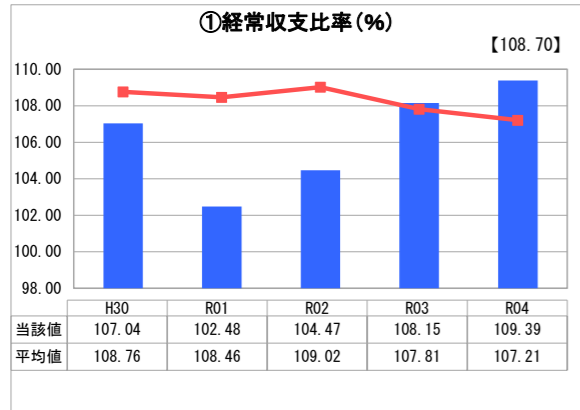
岩手県 雫石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	84.76	85.09	4,042	

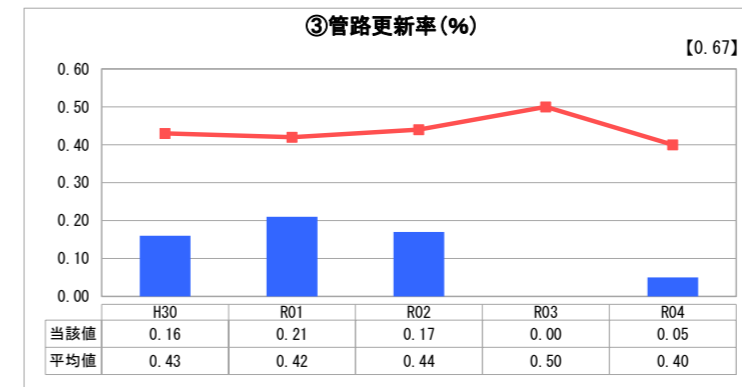
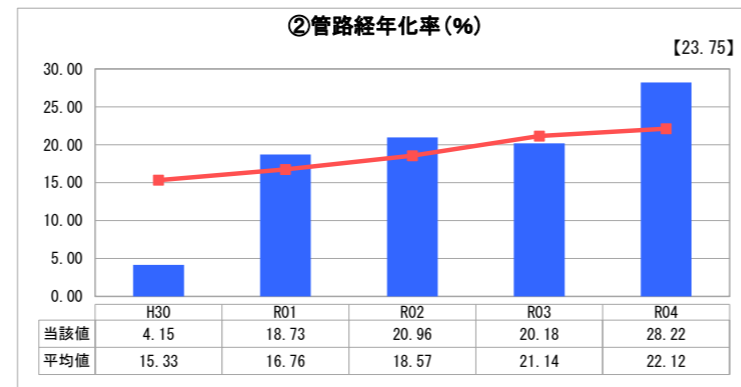
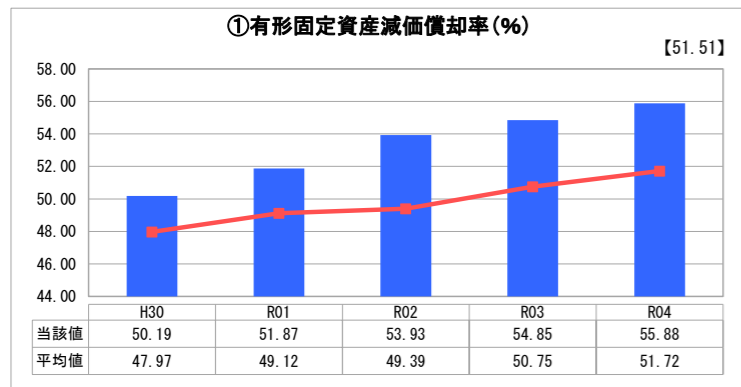
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
15,559	608.82	25.56
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
13,194	91.65	143.96

グラフ凡例		
■	当該団体値(当該値)	
—	類似団体平均値(平均値)	
【	令和4年度全国平均	

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 令和4年度の経常収支比率は、令和4年4月からの料金改定に伴い、令和3年度に比べ1.24%の上昇、過去5年間で最も高い数値となりました。継続して経営改善に向けた取組を進めます。

② 累積欠損金比率は0%であり、起債の新規発行を抑制しています。

③ 流動比率は、類似団体と比較して概ね良好な数値で推移しています。

④ 企業債残高対給水収益比率は低い水準であることから、料金収入に対する債務返済の負担は低いことを示しています。

⑤ 料金回収率は、令和4年4月の料金改定もあり、令和3年度に比べ0.73%増の104.09%となりました。引き続き維持管理費用の抑制並びに財源確保に向けた取組を進めます。

⑥ 給水原価は、類似団体より概ね低い数値で推移しています。給水人口の減少などにより有収水量の増加が見込めないことから引き続き維持管理費の抑制に努めてまいります。

⑦ 施設利用率は、類似団体と比較して概ね高い傾向にあり効率的な施設利用となっています。

⑧ 有収率は、平成29年度に経営統合した影響により、平成30年度以降は類似団体平均値より大きく減少しましたが、塩化ビニル管で整備された配水管の更新を継続していることで数値が上昇傾向にあります。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より若干高い数値で推移しており法定耐用年数に近い資産が多いことが読み取れます。

② 近年、管路経年化率は、類似団体平均値と同程度で推移していますが、今後も上昇傾向が続いていく予定であることから計画的に更新していく必要があります。

③ 管路更新率は、類似団体平均値と比較して低い状況が続いております。今後は更新費用の確保に努め、計画的に管路更新を進めていく必要があります。

全体総括

経営の健全性については、類似団体と比較して概ね良好な数値であり、健全性が保たれていると考えます。

しかしながら、固定資産の経年化が進んでいるため、施設や管路等の計画的かつ効率的な更新整備を行う必要があることから、令和3年2月に策定した水道ビジョン及び経営戦略に基づき、安定経営に向けた各種取組を進めます。